

< 参考資料 3-1 > 施設滞在者名簿(参考例)

施設名														
【必須】														
番号	①ふりがな		②氏名【必須】		③都道府県【必須】	④区市町村【必須】	⑤住所			⑥電話番号1	⑦性別 (0:男性、1:女性)	⑧年齢	⑨伝言	⑩連絡先メールアドレス
	姓	名	姓	名			字・町名	丁目	番地					
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														

※本参考例は、施設の受入れ数や滞在者情報を管理する上で必要となる名簿の例である。

キタコン DX などの使用など、安否確認情報の登録を施設滞在者自身に行ってもらう場合は名簿は必要ないため、帰宅困難者の受付名簿としては、各施設で運営に必要な情報のみ取得する書式にするよう、項目を追加・削除して差し支えない。

発災時に個別の名簿作成が困難な場合は、最低限おおよその滞在人数が把握できるようにしておくこと。

※都立施設を活用した一時滞在施設運営対応マニュアルより抜粋

< 参考資料 3-2 > 一時滞在施設状況報告書(参考例)

緊急時、詳細が把握できるまでは本様式で定
時報告を行うこと(電話・FAX・DIS・無線等)

情報班 ⇒ 帰宅困難者対策部門

施設名

一時滞在施設状況報告書〔第 報〕【緊急】

送信者名				帰宅困難者対策部門 受信者名		
報告日時	日	時	分	施設 連絡先	TEL FAX	
DISの状況	☐ 使用可能→原則としてDISで報告してください ☐ 使用不可 ☐ 未設置					
開設状況	☐ 開設準備中 ☐ 開設 ☐ 閉鎖					
受入状況	☐ 受入可 ☐ 混雑 ☐ 受入不可/終了 ☐ 不明					
施設 被害状況	☐ 大(建物倒壊等のおそれ、ライフライン途絶等) ☐ 中(一部機能に支障あり) ☐ 小(目立った被害はない)					
備蓄状況	☐ 充足 ☐ 不足					
< 特記事項 >						

※都立施設を活用した一時滞在施設運営対応マニュアルより抜粋

<参考資料 3-3> 施設滞在者カード(日本語／英語／やさしい日本語)

帰宅困難者 ⇒ 情報班

(施設名)

NO

施設滞在者カード

番号	項目	記入欄
①	ふりがな	
②	氏名	姓 名
③	都道府県	
④	区市町村	
⑤	住所	(町・字) 丁目 番 号
⑥	電話番号	— —

①～⑥の情報は、家族等からの安否確認を容易にするため、安否確認ポータルサイトを通じ検索可能な状態となりますので、あらかじめご容赦ください。

⑦	性別・年齢	歳
⑧	職業	医師・看護師の方は職員にお知らせください。
⑨	災害時要援護者	特別な支援が必要な場合はこの欄にお書きください
⑩	健康状態怪我等	
⑪	その他、管理者に伝えおくべきこと	

※このカードに記入したことにより、下記のことと同意したとみなします。

- 一時滞在施設は、災害時という特殊な状況下で開設されるため、施設管理者の指示に従うとともに、施設管理者が責任を負えない場合もあることを理解した上で、施設内において行動すること
- 余震等の影響で建物の安全性や周辺状況に変化が生じた場合、施設管理者の判断により、急きょ閉鎖する可能性があること
- 負傷者の治療等、施設の状況により対応できない事項があること
- 物資の運搬、災害時要援護者の介助など、施設の運営に積極的に協力すること
- 記載戴いた①～⑥の情報を、家族等からの安否確認を容易にするため、安否確認ポータルサイトを通じ検索可能とすること

なお、記載いただいた情報は、承諾なしに一時滞在施設の管理運営以外に使用しません。

※都立施設を活用した一時滞在施設運営対応マニュアルより抜粋

(Facility name)

NO

User Registration Card

①	Name in hiragana																						
②	Name	Last Name										First Name											
③	Gender																						
④	Age																						
⑤	Address																						
⑥	Phone (mobile)																						
⑦	Phone (home)																						
Please note that information from ① to ⑦ will be searchable via a safety confirmation portal to facilitate confirmation of safety by family members and others.																							
⑧	E-mail	@																					
⑨	Occupation											If you are a doctor or nurse, please notify staff.											
⑩	Special assistance required											If you need special support, please indicate here.											
⑪	Health conditions, including injuries																						
⑫	Other matters the facility operator should be aware of																						

***By completing this card, the user has agreed to the following.**

- Since this facility has been opened to the public under the particular circumstance of a disaster, users are asked to follow the instructions of the facility operator and also conduct themselves appropriately in the facility with the understanding that there are matters that do not fall under the responsibility of the operator.
- In the event of change in the situation of the safety of the building or its surroundings, due to afterquakes, etc., there is a possibility that the facility operator will decide to close on short notice.
- This facility may not be able to deal with certain matters such as treatment of the injured due to the facility's state of affairs.
- Users will actively cooperate with the operation of the facility, including the conveyance of relief goods and provision of assistance to people requiring special support.

※都立施設を活用した一時滞在施設運営対応マニュアルより抜粋

様式6(やさしい日本語)

ばんごう
番号

たてものつかし
この建物を使うときのお知らせ

この建物を使うときは、下に書いてある「守ってほしいこと」を読んで、約束のサインをしてください。
それから、太い線の四角の中に当てはまることを書いて、建物を管理する人に渡してください。

【この建物を使うときに守ってほしいこと】

1. この建物は、大きな災害が起こって自分の家に帰れなくなった人のために、みんなで助け合って使う建物です。
2. 災害の起こったあとは、ほかの事故に巻き込まれないように家に帰るのをいったんやめることが大事です。
自分のいるところの周りが安全だとわかるまでは、なるべくこの建物にいてください。
3. ここでは、「食べ物や水」があり、「トイレ」が使える、「ニュース」がわかるようにしています。
4. この建物を使うときは、次のことを守ってください。
○この建物にいたる間は、建物を管理する人のいうことを守ってください。
○災害が起こってすぐなので、予想できない危険なことが起こるかもしれません。そのことをわかった上で、この建物を使ってください。
○この建物を使っている間は、タバコを吸わないでください。
○この建物があぶないとわかったり、周りがあぶないとわかった時には、この建物から出て行ってもらうことがあります。
○建物を管理する人の言うことを聞かなかったり、ほかの人に迷惑をかけたりした場合は、建物から出て行ってもらうことがあります。
○水や食べ物を配ったり、子供やお年寄りを助けたりすることに協力してください。
5. この建物から出ていくときには、「建物から出ていくときのお知らせ」を必ず建物を管理する人に渡してください。

私は、この建物を使うときには、上に書いてあることを守ります。

【サイン】

なまえ お名前 にほんご (日本語で書く)			
けが	ある・ない	どんなけがですか？	
たす 助けがいること	たす なにか、助けがいることがあったら書いてください		
ほかの人を手助けできますか？	はい ・ いいえ		
たてものかんりひと 建物を管理する人が か 書くところ	受付者	受付日時	備考
		／ 時 分	